

重要注意事項

【装置】

- ・ 当装置の分析法は日本国内のアスベスト分析の公定法ありません。
- ・ 当装置の結果は石綿調査結果として公的報告書への活用はできません。
- ・ 検出されない「Unidentified」と表示されてもアスベスト非含有を保証するものではありません。公定法の分析が必要です。
- ・ 当装置は経済産業省公表資料の「[石綿（アスベスト）含有建材データベース \(asbestos-database.jp\)](http://asbestos-database.jp)」を基にスクリーニング測定されることを前提にいており、建材向けアスベスト判別の補助的装置です。
- ・ 当装置を目的外の測定で使用されアスベスト判別されてもそれを保証するものではありません。
- ・ 当装置はアスベスト鉱物の持つ水酸基の近赤外線域のスペクトルの測定により判別を行っており他の同様のスペクトルを持つ無機・有機化合物がアスベスト表示（偽陽性・偽判定）される場合があります。

【使用方法】

石綿則に基づく事前調査のアスベスト分析マニュアル【第 2 版】参照

<https://www.mhlw.go.jp/content/000919436.pdf>

スベストアナライザー(マイクロフェイザー)による測定方法……………160

- ・ 光源安定測定の為、起動後 30 分以上たってから測定にあたって下さい。
- ・ 測定前には必ず校正 PQ（キャリブレーション）を行ってから測定して下さい。
- ・ 測定回数は同一箇所またはサンプル場所を変え 3 回以上測定し判断して下さい。
- ・ 粉状や綿状のものは密度を高めた上で測定にあたって下さい。
- ・ 塗装面の上からは測定できません。
- ・ 液体中のアスベストは測定できません。
- ・ メンブランフィルター上のアスベストは測定できません。
- ・ 塗材・接着剤中のアスベストは測定できません。
- ・ 残存物が付着しそうなサンプルは測定都度、サンプルプローブ（先端）を乾いた柔らかい布等で拭き取りをして下さい。（前サンプルを測定する可能性があります。）
- ・ 装置内データは適宜 PC に転送して下さい。

株式会社 OBATA